

令和6年度 第1回住吉区防災専門会議 会議要旨

1 日時 令和6年7月3日（水）午後6時30分から午後8時40分

2 場所 住吉区役所4階 大会議室

3 出席者

（委員） 生田委員長、井西委員、小林委員、篠原委員、高柳委員、畑委員、堀委員、松岡委員

（区役所他） 区長、副区長、地域課長、地域課長代理、地域課担当係長、住吉消防署地域担当司令

4 報告事項

- (1) 令和5年度第3回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針について
- (2) 災害時地域協力事業所の取組について

5 議題事項

- (1) 令和6年度防災の取組について
- (2) 令和6年度住吉区総合防災訓練について

6 議事要旨

■ 報告

(1) 令和5年度第3回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針について

- ・ 住吉区総合防災訓練で配布したアンケート結果について、訓練参加者は毎年同じ人が多いためアンケート結果には偏りがある。今年度もアンケートを実施するならば質問項目を変更してはどうかという意見について、アンケート内容を再度検討すること、今後より多くの区民に総合防災訓練に参加いただけるよう、効果的な周知方法を検討していく旨を説明した。
 - ▶ アンケート項目について、新規の訓練参加者を増やすにはどんな取組が効果的か、次回の訓練はどんな内容で行いたいのか、災害時自分にできることは何だと思えるかをアンケート項目に設けてはどうかという意見があった。そのほか、例年災害時避難所でアンケートを配布しているが、一時避難場所でも配布してはどうかという意見があった。
- ・ 避難所におけるアレルギー対策に関する意見について、エピペン等のアレルギー症状の治療薬は配備できていないため、避難所内ではアレルギー表示を行うほか、平時から非常用持ち出し品としてアレルギー治療薬を持参いただくよう啓発に取り組む旨を説明した。
- ・ 義務教育中の小学生や中学生に対して、防災学習の時間を設けることはできないかという意見について、大阪市地域防災計画では、「学校園などは安全教育を実施すること」と定められていることから、区役所も職場体験や土曜授業等を通じて協力していく旨を説明した。
 - ▶ 小林委員より、墨江丘中学校の好事例について紹介があった。

(2) 災害時地域協力事業所の取組について

- ・ 住吉区では、災害時に地域貢献していただける区内の事業所等を対象に災害時地域協力事業所を募集している。今後、自衛消防協議会の会員事業所にも、災害時地域協力事業者への登録を促し、地域の防災訓練等に参加していただくなど、事業所と地域、消防署、区役所との連携を推進することで、地域での災害対応力の強化に繋げていけるよう取り組んでいく旨説明した。
 - ▶ 災害時地域協力事業所の登録のハードルを下げる取組が必要ではないか。例として、募集チラシに協力内容の事例を掲載してはどうかという意見があった。

■ 議題

(1) 令和6年度防災の取組について

- ・ 令和6年度に実施する防災の取組について、大和川氾濫等の水害に備えた取組や令和6年度配備予定物資など、全9項目について説明を行った。
 - ▶ 汚物処理セットについて、現在各避難所に1,600セット配備されているが、1日にも満たない量しかない。追加配備は検討しているのかという意見に対して、危機管理室に避難者数×1日5回分を目安に追加配備を要請している旨説明した。
 - ▶ 電池等、使用期限があるものはリスト化するなど、使用期限の確認を適切に行うべきという意見があった。
 - ▶ 処方薬などは1週間余分にもらっておき、避難所へ持参するといった、自助の必要性についてより広く周知する必要があるという意見があった。

(2) 令和6年度住吉区総合防災訓練について

- ・ 令和6年度住吉区総合防災訓練について、実施日時や訓練内容（案）等について説明を行った。
 - ▶ 総合防災訓練の際、MCA無線での通信訓練がうまくいかない。外部アンテナの設置はできないかという意見に対して、大阪市全体でも回線数が少なく、集中アンテナの設置も困難であることから、令和4年度より購入・配備しているタブレットを活用し、LINE等多様な手段で連絡がとれるよう訓練に取り入れていく旨回答した。